

第1学年2組 体育科学習指導案

指導者 石井 悠至

1 単元名 跳び箱を使った運動遊び

2 運動の特性

(1) 一般的特性

跳び箱を使った運動遊びは、いろいろな向きや高さの跳び箱やつなげた跳び箱で、「跳び上がった、跳び下りたり」することが楽しい運動遊びである。

(2) 子どもから見た特性 (男子 13名 女子 10名 計 23名)

A 運動の楽しさの体験状況

①運動をすることは好きですか。

とても好き	好き	あまり好きではない	きらい
12名	7名	2名	2名
楽しいから …… 8 体が柔らかくなるから 習い事でやっているから 足が速くなるから 走ったりするから	楽しいから …… 3 馬跳びが面白いから 鍛えたいから 暑くなるから 体を動かすことが好き	疲れるから 登棒が苦手だから	汗をかくから …… 2

②体育の学習は好きですか。

とても好き	好き	あまり好きではない	きらい
12名	8名	2名	1名
跳び箱が好きだから …… 2 運動ができるから …… 2 楽しいから …… 2 体を動かせるから 体育がうまくなりたいから 体育が好きだから 馬跳びが好きだから	遊ぶのがおもしろいから …… 2 楽しいから …… 2 面白いから …… 2 ちょっと楽しいから 体育のことを知りたいから	体力がなくなるから ちょっと楽しくないから	体操服を着るから

③休み時間に主にどんなことをしていますか。

<外> ジャングルジム …… 8 鉄棒 …… 3 鬼ごっこ ジャングルジム鬼ごっこ <中> 歌 将棋 自由帳	どろけい …… 4 すべり台 …… 2 カービィごっこ
---	-----------------------------------

④高い所から（遊具などから）跳ぶ遊びをしたことはありますか。

ある	ない（未記入含む）
13名	10人
ジャングルジム …… 8 その他 （ブランコ、雲梯、すべり台、家の近くで、友達の家で）	

⑤跳び箱を使って運動したり、遊んだりしたことはありますか。

ある	ない
18名	5名
・幼稚園・保育園でやったから …… 13 ・習い事で ・家でママに跳び箱になってもらった	

⑥跳び箱の学習をやってみたいですか。

すごくやってみたい	やってみたい	やりたくない
14名	5名	4名
・楽しいから …… 3 ・跳び箱が好きだから …… 3 ・やってみたいから …… 2 ・健康になる、体力がつく …… 2 ・面白そうだから ・ジャンプが高くなりたいたいから ・バレエをやっていて足が開くから ・できないから練習してできる ようになりたい	・へただから ・面白かったから ・楽しいから ・やったことがあるから ・高くても少しやってみたい	・難しいから …… 2 ・初めてだから ・高くなっていくから

B 運動の楽しさを求める学び方の習得状況

⑦きまりや順番を守って遊ぶことができますか。

できる	できない
23名	0名

⑧友達と仲よく学習ができますか。

できる	できない
23名	0名

⑨自分から遊びたいところを選んで遊ぶことができますか。

できる	できない
22名	1名（悩んでしまう）

C 運動の楽しさを味わうための技能の習得状況

	性別	A		B	C			またぎ 乗り			開脚跳び 縦3段
		体育好き	跳び箱運動の 経験	遊びたい場所を 選べる	踏み越し跳び 3段 片足踏切	跳び乗り4段 支持 両足踏切	跳び乗り5段 支持 両足踏切	踏切	支持	着地	
1	女	とても好き	ない	できる	○	○	ひざ	△	○	○	—
2	男	好き	ある	できる	○	○	△	○	○	○	—
3	男	あまり	ある	できない	○	両ひざ	ひざ	○	○	○	—
4	女	とても好き	ある	できる	○	○	○	○	○	○	—
5	男	好き	ある	できる	○	○	○	○	○	○	—
6	女	とても好き	ある	できる	△	両ひざ	両ひざ	△	○	○	—
7	男	とても好き	ある	できる	○	○	○	○	○	○	○
8	女	好き	ある	できる	○	○	○	○	○	○	○
9	男	とても好き	ある	できる	△	○	ひざ	△	○	○	○
10	男	とても好き	ある	できる	○	○	○	○	○	○	—
11	男	好き	ある	できる	△	両ひざ	両ひざ	○	○	○	—
12	男	嫌い	ある	できる	×	○	ひざ	○	○	○	—
13	女	好き	ある	できる	△	○	○	○	○	○	○
14	女	とても好き	ある	できる	○	○	ひざ	○	○	○	○
15	女	とても好き	ない	できる	○	○	○	△	○	○	—
16	女	とても好き	ある	できる	○	○	○	○	○	○	○
17	男	あまり	ない	できる	○	両ひざ	両ひざ	○	○	○	—
18	男	とても好き	ある	できる	○	○	○	○	○	○	○
19	男	とても好き	ない	できる	○	○	○	△	○	○	—
20	女	好き	ある	できる	○	○	○	○	○	○	—
21	男	好き	ある	できる	△	両ひざ	両ひざ	△	○	△	—
22	女	好き	ない	できる	○	○	○	○	○	○	○
23	男	好き	ある	できる	○	両ひざ	両ひざ	○	○	○	—
					△ 6名 × 1名	両ひざ 6名	両ひざ 11名				

○……片足、両足踏切で跳び乗ることができた。

△……は少し手を着いて、ひざがつきそうになって跳び乗ることができた。

×……は、跳び乗ることができなかった。

「両ひざ」……跳び箱の上で両ひざをついて乗った。

「ひざ」……片方だけひざをついて跳び箱の上に乗った。

「—」……開脚跳びができなかった。

【考察】

A 運動の楽しさを味わうための体験状況について

本学級は、「運動が楽しい、面白い、体を動かすことが好き」といった理由で体育の学習が好きな子どもが多い。休み時間になると、ほとんどの子どもが外へ出て遊び、体を動かすことを好んでいる。主な遊びの内容としては、ジャングルジム、雲梯、鬼ごっこ、登り棒などである。遊びの中で高い所から飛び降りるといった経験をしたことがある子どもは全体の半数に上る。

体育の学習では、これまでに体づくりの運動や水遊び、マットを使った運動遊びを経験しており、経験をしていくごとに子どもたちの中に体育の学習が楽しいという意識が高まってきている。今後取り組む単元についても期待をもっている。しかし、体育の学習を好きと答えている子どもたちの中でも、跳び箱を使った運動遊びを「やりたくない」と答えている子どももいる。その子どもたちは「難しい」「初めてだから」「高くなっていくから」といった不安や恐怖心を抱いているようである。前単元のマットを使った運動遊びでは、「やったことがない」という不安をなくすために、まずは、全員でいろいろな動きを体験してから学習を進めていくことにし、楽しみながら学習することを大切にしたい。

本単元では、マットを使った運動遊びと同じように全員で楽しむ時間を取り入れたり、易しい場や用具を使ったりして一人一人が意欲的に学習に取り組むことができるようにしていきたい。

B 運動の楽しさを求める学び方の習得状況について

実態調査から、「順番を守ることができますか」や「友達と仲よく学習できますか」に対して全員が「できる」と回答した。入学してから半年が経ち各学習を通して、学習のマナーや安全のためのルール、友達と協力して学習に取り組む意識が高まってきていることが感じられる。また、ほとんどの子どもが自分のやりたいことを選ぶことができると回答した。1年生の子どもたちにとって、自分のやりたい場を見付けたり、選んだりするということが一人一人のめあてをもつことにつながると考える。学習のマナーや安全のためのルールへの意識を定着させていくとともに、めあてをもって学んでいく学び方についても触れていけるようにしたい。また、安全に配慮しながら、危険な動きがないように指導を行っていきたい。

C 運動の楽しさを味わうための技能の習得状況について

実態調査で、跳び乗り、跳び下りをしたところ、幼稚園や保育園での経験があるため、大半の子どもたちが3段の跳び箱で跳び乗りをしたり腕で支持をして上がったたりすることができていた。しかし、腕の支持をする力や踏み込みの強さが足りず、上がり切らない子どもも見られた。

そこで本単元では、様々な動きを経験することをねらいとし、跳び箱をつなげたり、高さのある跳び箱を用意したりして、いろいろな跳び方で跳びたくなるように場を工夫していく。工夫された場で活動することで、跳び箱運動へとつながっていく動きも生まれてくるだろう。腕支持や踏み切り、着地といった動きについては、つながる運動の中に教師が意図的に取り入れ、意識させたい動きを身に付けられるようにしたい。

3 研究主題と学習の手立て

(1) 市教研体育部会の研究主題

生涯にわたって健康を保持増進し、運動に親しむ子どもを育てる体育学習

(2) 視点と学習の手立て

視点1 子どもの実態を的確に把握し、運動の特性と指導内容を明確にした上で、道すじや学習活動を工夫し、ねらいを明らかにすることで子どもたちが学習意欲やめあてをもって取り組めるようにする。

○意欲的に活動ができるような学習の進め方の工夫

本学級の子どもたちは、多くが幼稚園、保育園などで跳び箱を使った運動や遊びを経験しているが、運動経験には個人差があるといえる。経験したことのある動きも、“開脚して跳び越す”ということが主であり、イメージに乏しい部分もある。

本単元では、どの子どもも跳び箱を使ったいろいろな動きを楽しみ、遊ぶことができるように学習の進め方を工夫していく。

そこで、学習の前半の時間に全ての場で活動できるように、時間を十分に確保してローテーションを行い、どの子どももいろいろな遊びを経験できるようにする。その経験を生かして学習の後半の時間には、自分をもっと遊びたい場で活動する時間を設定する。どの子どもも意欲的に活動することができるように学習の進め方を工夫することで、子どもたちの主体性を高めていきたい。学習の中で、自分の遊ぶ場に悩んでしまう子どもがいる場合は、個別に声をかけ、一緒に場を選んだり遊んだりしていきたい。

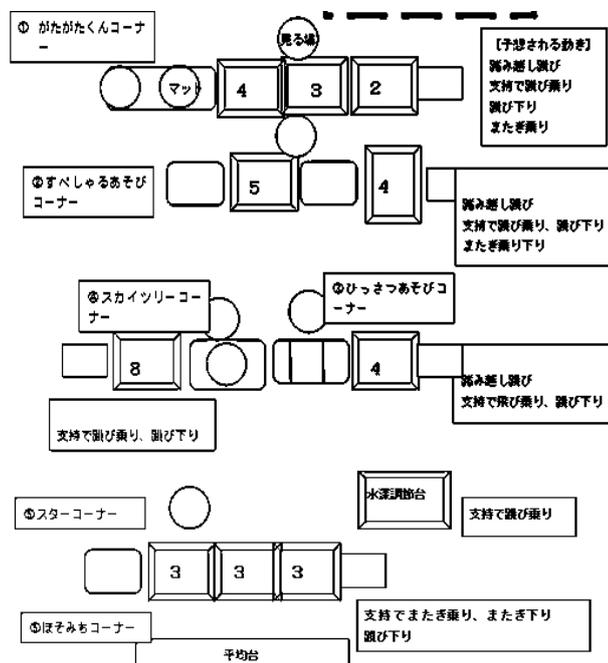
視点2 一人一人のよさを伸ばし、できる喜びを実感できる手立てを工夫する。

○いろいろな動きを経験するための場の工夫

子どもたちは跳び箱を使った運動遊びを楽しみにしている。しかし、跳び箱に対して難しさや怖さを抱いている子どももいる。この単元では、様々な先入観にとらわれず遊びの中でいろいろな場を体験し、「跳び乗り」「跳び下り」「手をついてのまたぎ乗りや跳び下り」といった動きのバリエーションを増やしていけるような場づくりをしていきたい。

最初の場は、子どもたちにいろいろな動きを経験させることを主としたものとする。その後、子どもたちの実態を踏まえて、場を変えていく。跳び箱に限らず水深調節台や平均台などの器具を使用することも視野に入れて柔軟に場を変えていくことで、子どもたちが継続して意欲的に遊べるようにする。

また、それぞれの場は、「ひっさつあそびコーナー」など遊びのイメージが膨らむような名前を付ける。子どもたちのアイデアを大切にしながら、動きのイメージが膨らむような名前をつけることで、自分が選んだ遊びの場に愛着をもって取り組めるようにしていきたい。



4 学習のねらい

○跳び箱を使った運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守って友達と仲よく運動することができるようにしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。 【関心・意欲・態度】

○跳び箱を使った運動遊びの行い方を知り、いろいろな遊び方を工夫できるようにする。

【思考・判断】

○跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りや跳び乗りができるようにする。

【技能】

5 評価規準（概ね満足のできる状況）

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・器械・器具を使つての運動遊びに進んで取り組みようとしている。 ・運動の順番やきまりを守り、友達と仲よく運動をしようとしている。 ・友達と協力して、器械・器具の準備や片付けをしようとしている。 ・運動をする場や器械・器具の使い方などの安全に気を付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定施設や器械・器具を使つた運動遊びの行い方を知るとともに、運動をする場や使用する器械・器具などを変えながら、いろいろな運動の仕方を見付けている。 ・器械・器具を使つての運動遊びの動き方を知るとともに、友達のよい動きを見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・跳び箱を使った運動遊びでは、跳び乗りや跳び降り、手を着いてのまたぎ乗りや跳び乗りなどができる。
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①跳び箱を使つての運動遊びに進んで取り組みようとしている。 ②運動の順番やきまりを守り、友達と仲よく運動をしようとしている。 ③友達と協力して、跳び箱の準備や片付けをしようとしている。 ④運動をする場や跳び箱の使い方などの安全に気を付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①いろいろな運動遊びの行い方を見付けている。 ②跳び箱を使った運動遊びの行い方を知り、友達のよい動きを見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りや跳び乗りなどができる。 ②安全に着地をすることができる。

6 学習の道すじ

	1	2	3	4 (本時)	5
0 ↓ 45	オリエン テーション	つながる運動			
		ねらい いろいろな場で跳び箱遊びを楽しもう			
					まとめ
関・意・態	③ ④	②		①	
思・判			②	①	①
技能			②		①

7 学習活動と教師の支援（本時4／5）

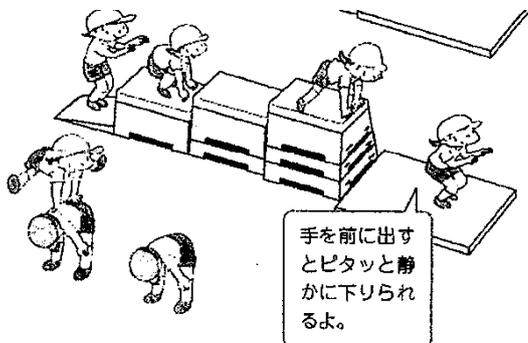
は じ め	<p>1 オリエンテーションをする。</p> <p>○学習のねらいを理解し、学習の進め方について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードの使い方を知る。 ・準備や後片付け、用具の使い方について理解する。 <p>◇友達と協力して、跳び箱の準備や片付けをしようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度③】</p> <p>○学習の仕方やマナー、安全について理解する。</p> <p>◇運動する場や跳び箱の使い方などの安全に気を付けようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度④】</p> <p>○つながる運動をする。</p>	
な か	<p style="text-align: center;">学習内容と活動</p> <p>1 学習の場づくりをする。</p> <p>2 準備運動やつながる運動を行う。</p> <p>（跳び越す感覚）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・馬跳び <p>（腕支持の感覚）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うさぎ跳び <p>3 学習のめあてや約束を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">ねらい いろいろな場で跳び箱遊びを楽しもう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 90%;"> <p>○約束</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートは、着地のポーズを確認したら手を挙げて合図を出す。 「いきます」「みてます」 ・友達の動きを見る場所は跳び箱の横のケンステップの場所。 ・助走や歩く方向はマットを出たら右側を歩くようにする。 </div>	<p style="text-align: center;">教師の指導と支援（○）・評価（◇）</p> <p>○安全に気を付けながら、協力して準備するように声かけをする。</p> <p>○必要な場作りが行えるようにするため、掲示物を掲示する。</p> <p>◇友達と協力して、跳び箱の準備や片付けをしようとしている。【関心・意欲・態度③】</p> <p>○主に使う腕や膝を意識しながら準備運動やつながる運動を行うように声をかける。</p> <p>○上手にできている児童を称賛してよい動き方を広めると共に意欲化を図るようにしていく。</p> <p>○掲示物を活用し、自分をはじめに活動する場はどこなのか簡単に確認をする。</p> <p>○約束の定着のために掲示物を使って、約束の確認をする。</p> <p>○怪我を防ぐために安全面のきまりやルールを確認する。</p>

4 活動する場を移動していろいろな場を回って楽しむ。

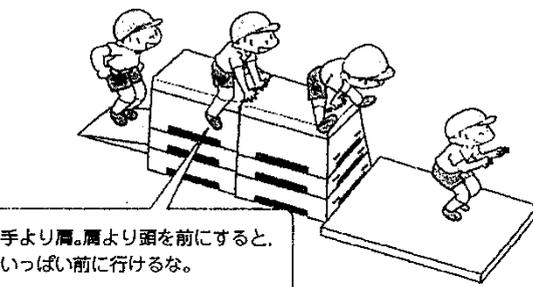
○4人組でローテーションしてすべての場を経験するようにする。

○場の例

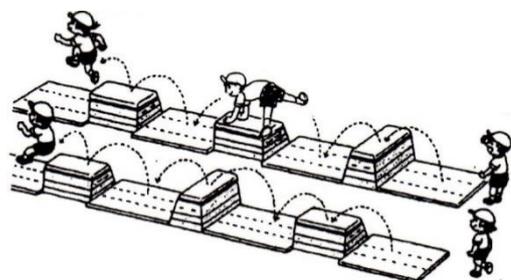
【がたがたくんコーナー】



【スターコーナー】

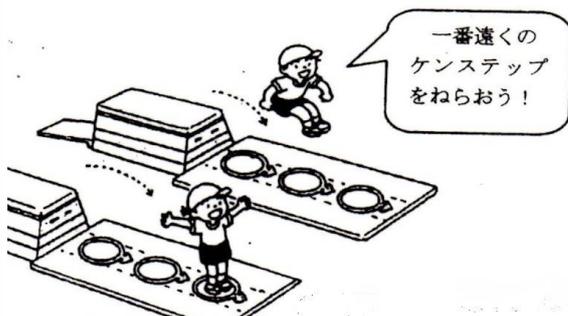


【スペシャル遊びコーナー】

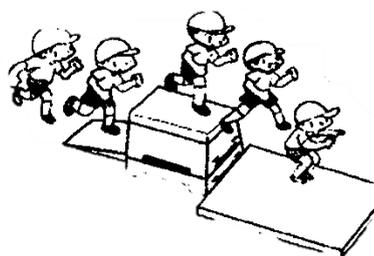


5 自分で行きたい場を選んで楽しむ。

【予想される子どもの動きの例】



【ひっさつコーナー】



【スカイツリーコーナー】



な
か

○動きが広がらない子どもには友達の動きの真似をするよう促す。

○場合によっては、子どもを集めて全体に広めたり、グループ内に広めたりする。

○膝を曲げて、両足をついて着地をしている子どもを称賛し、安全な着地を広めていく。

◇運動の順番やきまりを守り、友達と仲よく運動をしようとしている。

【関心・意欲・態度②】

◇いろいろな運動遊びの行い方を見付けている。

【思考・判断①】

◇安全に着地をすることができる 【技能②】

○いろいろな跳び方をしたり、何度も挑戦したりするように声かけをする。

○自分なりに遊ぶ場を選んでいるのか確認しながら声かけをする。

○遊びが広がらないような場では、教師が新たな遊びを紹介し、遊びを広める。

	 <p>跳び箱を踏んで、遠くへ跳んだよ!</p> <p>6 学習を振り返り、学習カードを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく遊べたか。 ・友達と仲よく協力してできたか。 ・いろいろな遊びを見付けられたか。 <p>7 後片付けを行う。</p>	<p>○場を見ながら、マットや用具がずれている時は直していくようにする。</p> <p>○新しい動きは、称賛し、いろいろな遊びの動きを広げていくようにする。</p> <p>○子どもたちと話し合いながら用具を用いたりして場を変化させていくようにする。</p> <p>◇跳び箱を使っの運動遊びに進んで取り組もうとしている。【関心・意欲・態度①】</p> <p>◇跳び箱を使った運動遊びの行い方を知り、友達のよい動きを見付けている。【思考・判断②】</p> <p>◇跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りや跳び乗りなどができる。【技能①】</p> <p>○学習の中で楽しかった場や遊び方を振り返り、次の学習へつなげるようにする</p> <p>○安全に気を付けて、グループで協力しながら片付けるように声かけをする。</p> <p>◇友達と協力して、跳び箱の準備や片付けをしようとしている。【関心・意欲・態度③】</p>
<p>まとめ</p>	<p>1 学習のまとめをして、学習カードに振り返りをする。</p> <p>○ルールやマナーを守って、友達と協力して楽しく学習することができたか。</p> <p>○安全に気を付けることができたか。</p> <p>○いろいろな遊びをすることができたか</p> <p>◇いろいろな運動遊びの行い方を見付けている。【思考・判断①】</p> <p>○跳び箱に跳び乗ったり、跳び下りたり、手をついてのまたぎ乗りや跳び乗りすることができたか。</p> <p>◇跳び乗りや跳び下り、手をついてのまたぎ乗りや跳び乗りなどができる。【技能①】</p>	